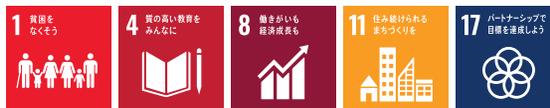


基本目標

3

教育文化

3-1 学校教育



5年後に目指す姿

すべての子どもたちが、自ら学び、考え、創造する力を身につけ、持続可能な社会を創る担い手へと育てます。義務教育学校の開設を検討し、小中一貫教育のメリットを最大限に生かすなど、向学心あふれる学校づくりを推進します。



対応する指標

| 指標名 | 単位 | 令和5年度 | 令和10年度 | 数値設定根拠 |
|----------------------------|----|-------|--------|------------------------------------|
| 小中の学校評価アンケート結果における肯定的評価の割合 | % | — | 88.5 | 学校評価アンケートでよくできていると答えることができる児童生徒の割合 |

現状と課題

- ◆ 学校施設の老朽化（小学校）
- ◆ 児童生徒数の減少
- ◆ 複式学級編成の回避
- ◆ 義務教育学校の設置
- ◆ こども園・小・中連携の必要性
- ◆ いじめ・不登校児童生徒対策
- ◆ ICT機器を活用した指導体制の遅れ
- ◆ 教職員の働き方改革
- ◆ 部活動地域移行
- ◆ 保護者負担軽減対策の充実



小学校大運動会



中学校総合学習「創郷」発表会

取り組み

指標

| 取り組み内容 | | 指標名 (単位) | |
|--------|--|---|-----------------|
| | | 令和5年度 (実績値) | 令和10年度 (目標値) |
| 1 | 学校施設・設備の充実 安全・安心・快適な環境づくりに向け、小中学校の施設・設備の適切な維持管理を行います。ネットワークアセスメントを行い、より充実したICT環境整備を推進します。 | 学校内での事故発生件数 (件) 0 → 0 | |
| 2 | 教育DXの推進 AIドリル、ICT機器を活用した授業、家庭学習を充実させ、児童生徒の情報活用能力向上、学力向上に繋がります。不登校児童生徒対策としてタブレットや電子黒板の活用を推進します。 | ICTを活用する質問について「できる」「ややできる」または「そう思う」「ややそう思う」と回答した児童生徒の割合 (%) 小：82.5 → 85.5 中：91.3 → 94.3 | |
| 3 | 保護者の経済的負担軽減対策の充実 給食費の全額助成、高校通学費の助成などを行い、保護者の経済的負担軽減を行います。学習ドリルなどの学習用教材費の公費負担を検討します。経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者を対象に必要な教育費の援助を行います。 | 対象者の申請率 (%) 100.0 → 100.0 | |
| 4 | 教職員の働き方改革の推進 教務、校務システムのクラウド化を実現し、文書のデジタル化など、情報共有しやすい環境整備を推進し、教職員の業務効率化を図り負担軽減などを行います。 | 教職員の時間外在校時間 (時間/月) 小：23.8 → 45.0 以内 中：51.7 → 45.0 以内 | |
| 5 | 教育活動の質の向上 カリキュラムマネジメントの充実に向け、地域資源の活用、学校運営協議会など、学校と地域との連携強化に努めます。また、児童生徒の発達段階に応じた教育課程の編成に向け、義務教育学校の設置について検討します。 | 総合的な学習等において浦臼の魅力を学習し、PRしている学校数 (校) 小：1 → 1 中：1 → 1 | |



電子黒板を使用した授業風景

教育サポート

1. 学校給食費無料化：小中学生の給食費を全額助成。
2. 漢字検定・英検・数検費用助成：年間で各2回まで検定料を助成。
3. 通学支援助成：高校生通学定期券や下宿費を補助 (月額最大1万円)。

3-2 生涯学習



5年後に目指す姿

幼児から高齢者まで様々な学習機会を提供するため、特色ある講座・教室の開催や、町民が自主的に活動できる環境づくりを推進します。

また、体育施設の適正管理や利用率の向上、スポーツ団体への支援を通じて子どもから高齢者までどなたでも笑顔で汗を流せる環境づくりを行います。



対応する指標

| 指標名 | 単位 | 令和5年度 | 令和10年度 | 数値設定根拠 |
|--------|-------|-------|--------|--------------------|
| 講座・教室数 | 講座・教室 | 6 | 6 | 講師等を確保し、教室数を維持していく |

現状と課題

- ◆ 生涯学習拠点の機能維持・強化
- ◆ 利用者ニーズに応じた図書を購入
- ◆ 社会教育事業の充実
- ◆ 講師、指導者の確保
- ◆ 指導者不足
- ◆ 継続的な運動機会の確保
- ◆ スポーツ団体への支援
- ◆ 施設の維持管理

取り組み

指標

| 取り組み内容 | | 指標名 (単位) | |
|--------|---|-------------------------------|-----------------|
| | | 令和5年度 (実績値) | 令和10年度 (目標値) |
| 1 | 生涯学習拠点の機能維持・強化 生涯学習の拠点施設の機能維持及び強化を図り、町民が安心して学習できる拠点づくりに努めます。 | 生涯学習拠点施設のあり方検討 未整備 → 方向性決定 | |
| 2 | 利用者ニーズに応じた図書の購入 より多くの方に利用してもらうため図書リクエストで利用者の希望や関心分野について意見を聴取し、利用者の声を図書整備に反映します。 | 図書貸出冊数 (冊/年) 1,176 → 1,894 | |
| 3 | 社会教育事業の充実 各年齢層に応じた特色ある講座や教室を開催します。 | 講座・教室数 (回) 6 → 6 | |
| 4 | 講師、指導者の確保 講師のなり手も高齢化し、なかなか確保が難しい状況ではありますが、文化協会や近隣町村と連携し指導者の確保に努めます。また、オンライン生涯学習の可能性も研究し、ニーズを踏まえつつ、新たな生涯学習のあり方を構築します。 | 必要な講師の確保率 (%) — → 100.0 | |
| 5 | 高齢者大学みどり学園の支援 高齢者の生きがいづくりとして実施している「高齢者大学みどり学園」について、継続的に支援し、学びたい人が学べる環境を維持します。 | 生徒数 (人) 39 → 39 | |
| 6 | 継続的な運動機会の確保 町民の体力・運動能力の低下や運動習慣の低減が進んでいることから、運動する機会を設け、運動習慣定着の推進を図ります。 | 玉入れ大会の支援 継続 → 継続 | |
| 7 | 町内スポーツ団体への支援 町内スポーツ団体の行う自主的な活動や大会の開催を促進するため引き続き支援を行います。 | スポーツ団体数 4 → 4 | |
| 8 | 施設の維持管理 施設の建設から年数が経過し老朽化も進んでいるため、適宜維持補修を実施します。 | 修繕計画の策定 未策定 → 策定 | |

3-3 文化芸術・文化財



5年後に目指す姿

芸術に触れることにより、町民の感性を高め、心豊かで潤いの持てるかおり高い文化の町を目指します。



対応する指標

| 指標名 | 単位 | 令和5年度 | 令和10年度 | 数値設定根拠 |
|------|----|-------|--------|--|
| 芸術鑑賞 | 回 | 4 | 4 | 芸術に触れる回数 (文化祭、人形劇、ふれあい芸術鑑賞会、移動芸術鑑賞会、(小中学校劇鑑賞会)) |

現状と課題

- ◆ 担い手の高齢化
- ◆ 団体数の減少
- ◆ 若年層の文化活動への関心の低下
- ◆ 文化施設の老朽化と維持管理の負担
- ◆ 文化活動の資金調達の困難さ
- ◆ 文化イベントのマンネリ化

取り組み

指標

| 取り組み内容 | | 指標名（単位） | |
|--------|---|--------------------------|-----------------|
| | | 令和5年度 （実績値） | 令和10年度 （目標値） |
| 1 | 文化団体の活動支援 各団体の自主的な活動の促進や芸術・芸能発表の機会の創出に向け、各文化団体への支援を積極的に支援します。 | 文化団体数 4 → 4 | |
| 2 | 芸術鑑賞会 年代等にかかわらず芸術に触れる機会が減少することがないように積極的に推進します。 | 鑑賞会の開催（回） 4 → 4 | |
| 3 | 郷土文化や歴史の継承 郷土史料館を核として町の歴史や文化、風土を町内外へ発信します。文化財の適切な保存に努めるとともに、展示方法の改善など、文化財の有効活用を図り、郷土文化や歴史の継承に努めます。 | 史料館来館者（人） 929 → 1,200 | |



郷土史料館